

収穫適期を正しく把握し、刈り遅れを防止！

- 本年は梅雨明け（7月14日）以降、高温が続き、特に8月上旬は気温35度以上の猛暑日が7日（長岡アメダス）となりました。
- 新潟地方気象台発表の1か月予報（8月5日発表）によると、向こう1か月（8月7日～9月6日）の平均気温は、高い確率が60%と予想されており、高温登熟になると想定されます。
- 今後の高温で収穫期が早まり、品種によっては刈り遅れが発生することも考えられます。刈り遅れは、胴割粒や着色粒の発生を助長するので、早めの作業準備を行い、適期収穫で品質低下を防ぎましょう。

1 出穂期と収穫適期のめやすにより、収穫計画を作成

- ・ 積算温度を活用して収穫時期を推定し、収穫計画を立てましょう。
- ・ 高温登熟の場合は、収穫適期のめやすを下表より2日（50℃）程度早めましょう。

表1 品種別の出穂期・収穫適期のめやす（8月5日現在）

品種	収穫適期のめやす (出穂後積算温度)	出穂期 (管内の代表的な出穂期)	収穫適期のめやす (積算温度到達日) ※
	通常年		
ゆきみらい	975 °C	7月17日	8月21日
ゆきん子舞	950～1,000 °C	7月23日	8月26日～28日
あきだわら	1,050～1,100 °C	8月11日	9月23日～25日
(参考) コシヒカリ	1,000 °C	8月3日	9月10日

※ 収穫適期のめやす（積算温度到達日）は長岡のアメダスデータより算出した。

ただし、8月4日までの気温は本年値、8月5日以降は気象庁「向こう2週間・1か月の予測資料」に基づいて算出した。

2 ほ場での黄化粃の割合で収穫適期を判断

収穫適期は、粃の黄化割合で最終判断しましょう。

表2 品種別の収穫適期の黄化粃割合

品 種 名	収穫適期の黄化粃割合
ゆきみらい、あきだわら、(参考) コシヒカリ	85～90%
ゆきん子舞	90%

問い合わせ先

長岡農業普及指導センター

電話 0258-38-2554

E-mail ngt111440@pref.niigata.lg.jp